

がくしゅうかだい（2ねんせい）

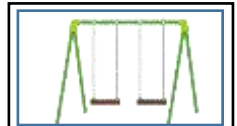
【こくご】おうちの人とけいかくをたてて、すこしずつすすめていきましょう。

＜べんきょうすること＞

◆「きせつのことば1 春がいっぱい」（きょうかしょ 30～31 ページ）
にとりくみます。

① 「はながさいた」を音読^{おんどく}します。

（例）



かよてすはつぼくこうえん
らう、こ。たぐがなま
でにあ雪とう思春な
す。なそえんうのえ
つべとんうのえ
るけでなえ

② 30 ページ右下のカードのように、春だとかんじる
ものを2つか3つぐらいの文でノートや取組^{とりくみ}シート
に書きます。

※見つけたものでも、知っているものでもいいです。

◆「きょうのできごと」（きょうかしょ 32～33 ページ）にとりくみます。

① 32 ページの日記^{にっき}（きょう、またはきのうあったことについて）を読
み、32 ページ下の「たいせつ」に書いているポイントをもとに、日記
のよいところを見つけます。

② ①で見つけたよいところをできるだけ入れて、日記^{にっき}をノートや取組シ
ートに書いてみます。

◆あたらしいかん字「図」～「肉」（きょうかしょ 28～33 ページ）まで、
とりくみます。

＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

「きせつのことば」

- ・春の植物や生き物について話したり、図鑑があれば調べてみたりできると学習に広がり
生まれます。

「きょうのできごと」

- ・P32 の4つのポイントを参考にし、お子さんに声をかけてみてください。

例) 「どんなことをしたの?」、「その時に思ったことは?」など

- ・お子さんが書いたものに目を通し、ほめたりアドバイスをしたりしてください。

- ・「きせつのことば」は春の様子が伝わってくるように書けているか、「きょうのできごと」
は、4つのポイントがだいたい含まれているか、主語や述語のつながりに間違いはないか
などを確かめ、上手に書けていれば、ほめてあげてください。